

環境マネジメントについて

平成25年11月25日
総務部行財政改革推進課

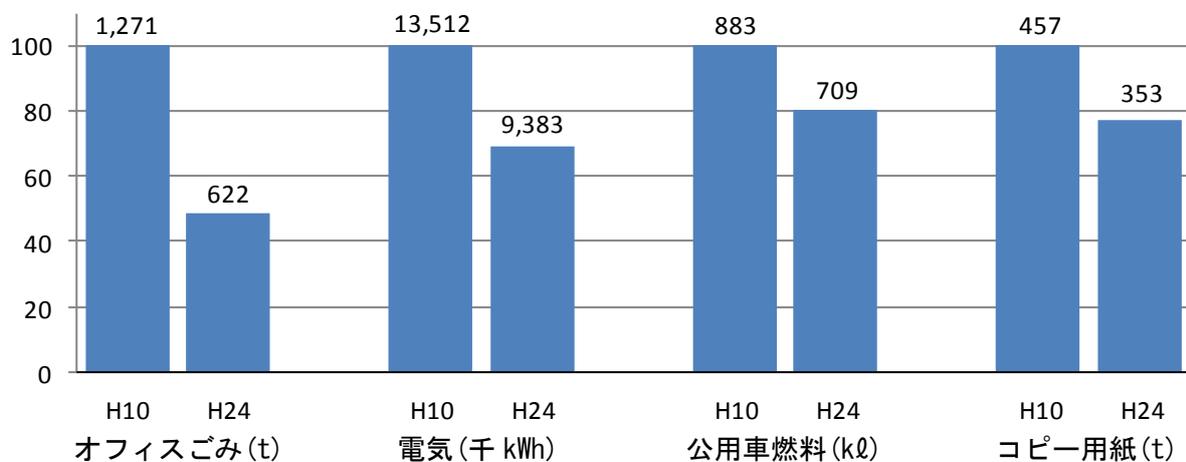
三重県庁の事業所としての環境マネジメントは、ISO14001に基づき取り組んでいます。認証取得後13年を経過し、組織内での環境活動の定着が図られている一方、職員からは認証に係る手順が煩雑化しているなどの意見や、今年度から本格運用を開始した「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」との二重管理が問題として指摘されています。

このことから、県庁の環境マネジメントについて、平成26年度のISO14001の認証更新を控え、庁内での議論等を踏まえながら、見直すこととします。

1 ISO14001に基づく環境マネジメントの成果

ISO14001に基づく環境マネジメントに長年取り組んできたことにより、組織内でのPDCAサイクルによる環境活動の仕組み及び職員の環境意識の定着、成熟が図られました。認証の要件として毎年受審する外部審査機関による審査においても、平成21年度以降、改善指摘事項はないことから、環境マネジメントの定着が確認できます。

また、毎年度環境目標を設定し、組織として、廃棄物の発生抑制及びリサイクルの促進、温室効果ガス排出量にかかる電気、燃料等の使用量削減などに取り組むことにより、認証取得前の平成10年度と昨年度の比較において、オフィスごみの排出量は51.0%減、電気の使用量は30.5%減、公用車燃料の使用量は19.7%減、コピー用紙の使用量は22.7%減となるなど、県庁自らの環境負荷低減について着実に成果をあげてきました。



※平成10年度の排出量、使用量を100として表示
※本庁及び地域機関（旧県民局）の合計で比較

2 現状の環境マネジメントの問題点

ISO14001 の認証取得以降、規格の範囲内でより効果的、効率的になるよう、逐次手順等を見直してきましたが、今年度に全庁的な事務の再点検として実施した「仕事リフレッシュ（業務プロセス・手続等の再点検）」の職員アンケートにおいて、認証のため手順が煩雑化しているなどの意見や、長年の取組で一定の定着が図られていることによる今後の認証の必要性を指摘する意見が多く寄せられました。

また、政策を推進する新たなマネジメントシステムである「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」が今年度から本格運用を開始し、それぞれの仕組み（マネジメント）を1つの仕組み（オールインワンシステム）とすることでPDCAサイクル機能の強化、資料作成の効率化などを図ることとしています。環境マネジメントについても、目標管理を中心に既にこのサイクルに取り込んで運用されていることから、一部でISO14001のPDCAサイクルとの二重管理が生じています。

3 環境マネジメントの見直し

県庁の環境マネジメントについて、以上の問題点を解決するため、長年のISO14001の取組で養ったノウハウを活かしながら「みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）」にマネジメントシステムを一本化することにより、今までの成果を維持しながらも、本県の行政運営の仕組みに合致した、より効率的な運用に見直すこととします。

なお、本見直しにより独自の環境マネジメントシステムによる運用となることから、来年度期限を迎えるISO14001の認証は更新しないこととします。

	現 行		見直し後
マネジメントの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 ・みえ成果向上サイクル 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・みえ成果向上サイクル
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針 ・三重県経営方針(職員行動指針) 		<ul style="list-style-type: none"> ・三重県経営方針(職員行動指針)
管理推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 独自の体制 (県環境保全・地球温暖化対策推進委員会、総括環境推進員会議等) 		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の行政運営体制 (政策会議、共通幹事会等)

4 実施時期

平成 26 年 4 月 1 日から運用開始予定